Château de la Vieille Chapelle

GRAND VIN DE BORDEAUX

Article publié dans le quotidien japonais Shizuoka Shimbun du 14 février 2008

静岡新聞　夕刊　平成20年(2008年)2月14日　木曜日　中　(6)

レジャー

フランス・ボルドー

ワイン、シャトーで満喫

地元業者と昼食会も

ボルドー市中心部の古風な街並み。2007年6月に世界遺産に登録された

世界一のワイン王国フランス。中でも南西部の大西洋に臨む都市ボルドーを中心とする地域は極上品の産地として知られる。高速列車TGVに乗り、この地のワイン醸造所「シャトー（城）」を訪ねた。

ボルドーは一番に美酒が生まれた地域は、大西洋に注ぐジロンド川、上流のドルドーニュ川とガロンヌ川沿いに育つ良質のワイン専用のブドウ品種をアレンドする独特の製法にある。こうして造られた「シャトーマルゴー」「シャトー・ラフィット・ロートシルト」といった超高級銘柄は日本のファンの間でも垂涎の的だ。

近年、フランスでは醸造所やブドウ園見学と試飲が観光の中心の一つ。古風な街並みは、古くから英国など海外に開国情緒に包まれている。街の中心部から北東へ車で四十分。ドルドーニュ川沿いの町リュゴンに、目当ての「シャトー・ド・ラ・ビエイユ・シャペル（古い礼拝堂）」があった。十二世紀に建立された古めかしい礼拝堂は、貯蔵タンクやたるを備えた醸造所になっていた。裏手には見渡す限りのブドウ畑が広がる。

「シャトーを手に入れるのは長年の夢でした」とオーナーのフレデリック・マリエさん（三）。パリ生まれでソルボンヌ大卒。日本に留学したこともある異色なプロフィルだ。

続いて私所が一般公開されている、ボルドーもワイン観光の中心の一つ。古風な街並みは、古くから英国など海外に開国情緒に包まれている。街の中心部から北東へ車で四十分。ドルドーニュ川沿いの町リュゴンに、目当ての「シャトー・ド・ラ・ビエイユ・シャペル（古い礼拝堂）」があった。十二世紀に建立された古めかしい礼拝堂は、貯蔵タンクやたるを備えた醸造所になっていた。裏手には見渡す限りのブドウ畑が広がる。

「シャトーを手に入れるのは長年の夢でした」とオーナーのフレデリック・マリエさん（三）。パリ生まれでソルボンヌ大卒。日本に留学したこともある異色なプロフィルだ。

食会。近所の家製ワインをさかなに歓談した。

マリエさんの案内でシャトー内を回った。採れたてのブドウ果汁を、発酵が始まってから三時間後の果汁を飲み比べてみる。発酵中の果汁には、ほのかに酒の香りが漂う。さらに完成品

Frédéric & Fabienne MALLIER, 4 Chapelle, 33240 Lugon et l'Ile du Carney, SARL - RCS 490 473 907 00015
Tel : 05 57 84 48 65 – Fax 05 57 84 40 28 - f.mallier@château-de-la-vieille-chapelle.com